

令和8年度「こうた女性の会」の現況

令和8年5月31日現在

「こうた女性の会」は、「明るい家庭と住みよい町づくり」を目指し、70年以上に渡って活動を続けてきた女性の自主的な社会教育団体です。幸田町からも、幸田町教育研究会（教員組織）や幸田町PTA連絡協議会（PTAの連合体）、文化協会などと同様に、正式な社会教育団体として認められており、主に町の補助金で運営されています。

具体的な活動としては、町長さんと語る会を中心とした「町政と住民を繋ぐ活動」を始め、中学生着付け教室や町行事への参加、花壇づくりなどの「地域貢献・奉仕活動」、防災を中心とした研修や手作り味噌づくり講座などの「学習活動」を行っています。また、幸田町赤十字奉仕団（こうた女性の会の会長が委員長を兼務）の一員としての「日赤奉仕団活動」や「こうた女性の会衣裳室（町民会館内）」を運営してレンタル衣裳を安価で提供する活動にも取り組んでいます。

しかし、様々な団体において組織離れが全国的な話題となっていますが、こうた女性の会も例外ではありません。フルタイムで働く女性が増えた20年程前から、こうた女性の会に参加する「区女性の会」が減り始め、令和6年度末に最後まで残った「岩堀区女性の会」が解散したことにより、こうた女性の会に参加する「区女性の会」はなくなりました。

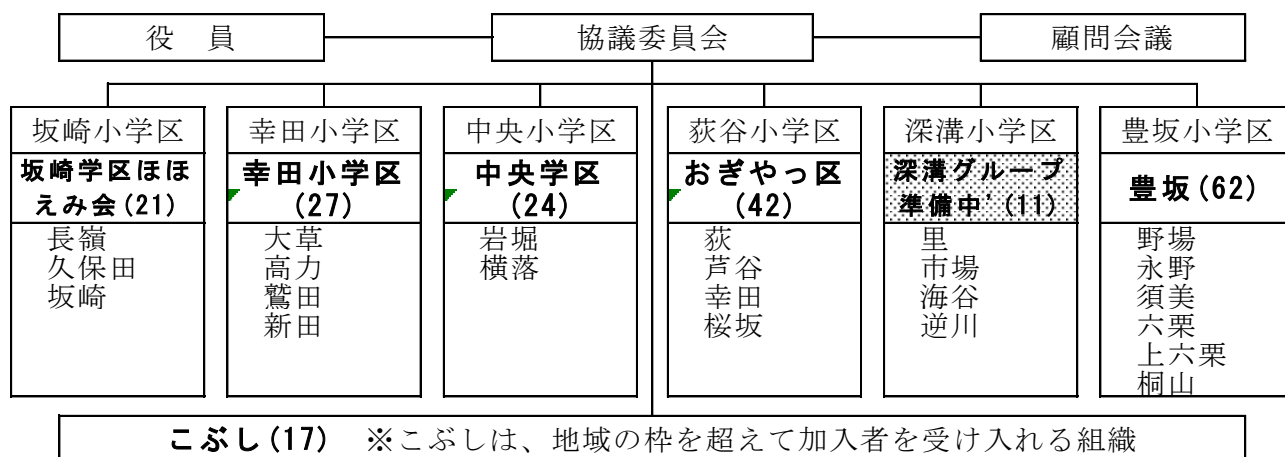
こうした状況に対応すべく、こうた女性の会では、令和2年度から「女性の会をもう一度、町全体を網羅した組織にする」という町の方針を受け、有志による小学校区単位の女性の会の設立を進めてきました。その結果、深溝小学区を除く5つ小学校区（深溝小学区は設立準備中）で学区女性の会が設立され、コミュニティの組織に加えていただいております。また、今年度から深溝グループを除く、すべての学区女性の会にコミュニティの予算をつけていただいております。

現在、こうた女性の会は、有志による会員のみの組織として、全町から会員が在籍している「こぶし」を加え、6つの女性の会の連合体として、活動していきます。そして、深溝学区での女性の会の設立準備を進めるとともに、活動内容を精選しながら、「町政と住民を繋ぐ活動」や「学習活動」など、町民の皆様のためになる活動に力を入れていく予定です。

「こうた女性の会」は、これからも「人と人とのつながりを大切にし、明るい家庭と住みよい町づくり」を目指して活動していきますので、今後も、ご理解とご支援をお願いいたします。

参考資料 <「こうた女性の会」の組織図>

（R8年度：会員総数（5月31日現在）…204名



※（ ）内は会員数。太字は「こうた女性の会」に所属する会。網掛けは設立準備中